令和５年度　入学式　式辞

　生命の息吹を感じる春の佳き日、ＰＴＡ会長及び同窓会会長、後援会の皆様の御臨席を賜り、福岡県立若松商業高等学校「第６４回入学式」を挙行できますことは、本校教職員にとりまして、この上ない喜びであります。学校を代表しまして、御臨席の皆様に心から御礼申し上げます。

　ただいま令和５年度新入生の入学を許可いたしました。第６４期生の皆さん、入学おめでとうございます。本校教職員、在校生はもとより、すべての関係者が皆さんの入学を心より歓迎いたします。

　本校は、昭和３５年４月に、福岡県立若松高等学校商業科が分離独立して設置され、今年で創立６４年目を迎える歴史と伝統のある県立商業高校です。
　創立以来、校訓である「自律・創造・協力」を旨とした教育活動を行い、専門的な知識と技術を身につけた人材育成に務め、１万４千名余りの卒業生を有し、地域社会から大きな評価をいただいています。

　さて、新入生の皆さん、今の気持ちはどのようなものでしょうか。
これから始まる高校生活に向けて、期待と不安が入り交じった表現のしようがない気持ちだと思います。ここで、高校生活を送る上での、心構えを伝えたいと思います。
それは、「未来の自分を信じること」です。高校時代は、とても多感な時期で、ちょっとした失敗にもくじけそうになるときがあります。そのようなときは、「この失敗は、きっと未来の自分に、役に立つ失敗だ」とプラスに考えるようにしてください。映画の神様と言われた喜劇俳優チャーリー・チャップリンは、生前、「あなたの最高傑作は何ですか」という質問に対し、「ネクスト１（次の作品だよ）」と、応えていました。過去にではなく、常に未来に目を向けていたその姿勢が、数々の偉大な作品を残したのです。さらに、次のような言葉を残しています。その言葉とは、「大切なことは、今までの自分がどうであったかではなく、これからの自分がどうであるか、である。」
　どうぞ新入生の皆さん、これからの高校生活において、少々の失敗にくじけることなく、プラスに考え、未来の自分を信じて、日々を大切に過ごすようにしてください。この姿勢を持って過ごしていけば、将来きっと自分らしく輝く未来が待っていると私は考えます。

　終わりに、高い所からではございますが、保護者の皆様に一言、御挨拶を申し上げます。本日より、お子様をお預かりすることになります。私ども教職員は、お子様が将来、自分らしく輝くよう、常に愛情を持って、時に厳しく、時に優しく、全力を挙げて日々の教育活動に取り組んでいく所存です。そのためにも、学校と家庭が相互に協力し、連携することが必要であると考えます。どうぞ、この本校の教育方針をご理解いただき、ご支援とご協力をお願い申し上げまして、式辞といたします。

令和５年４月７日
福岡県立若松商業高等学校
校長　長野　満晴